

# 省エネ診断実施例

## 岐阜市民会館

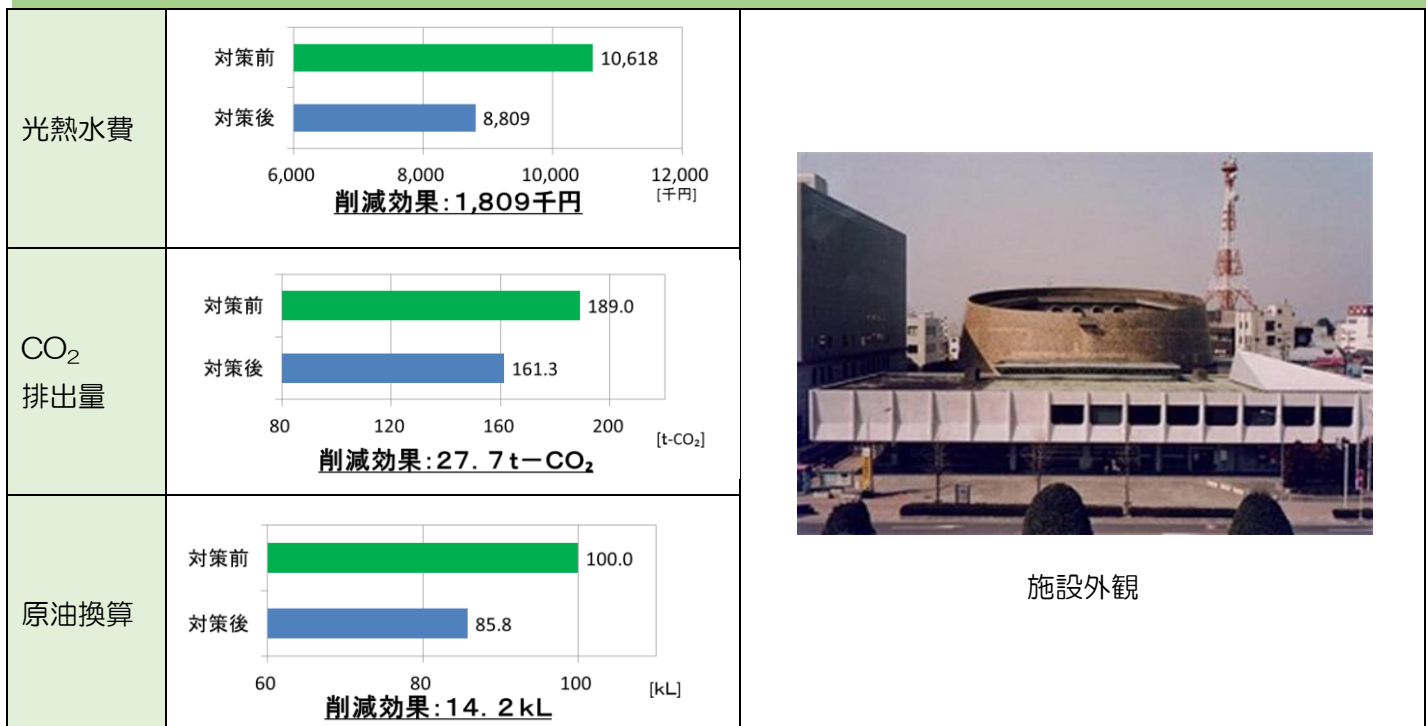
### ◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約1,256千円の光熱費(CO<sub>2</sub>排出量: 17.3t-CO<sub>2</sub>)の削減が見込まれる。
- 5年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約1,460千円の光熱費(CO<sub>2</sub>排出量: 20.9t-CO<sub>2</sub>)の削減が見込まれる。

### ◆ 主な改善提案（投資不要・回収5年以下のエネルギー削減ポテンシャル）

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.空調機の外気取り入れ量の削減	外気を必要以上に取り入れないように制御すれば、大幅な省エネ効果が見込める。	840	—	—
2.盛夏以外は空調の冷水出口温度を緩和	冷温水機負荷の小さな中間期に冷水温度を上げることで省エネを図る。	43	—	—
3.地下駐車場 照明の一部消灯	駐車場としての照度を保ちつつ、過剰な照明を消灯することにより省エネを図る。	37	—	—
4.省エネ型自販機への更新	省エネ型自販機に更新することで、消費電力を削減する。	7	—	—
5.日負荷線図の解析による最大電力の削減	デマンド監視装置の記録を活用し、日負荷線図を作成・分析し、最大電力抑制を図る。	329	—	—
6.冷水ポンプのインバータ化による消費電力の削減	現状の間欠運転からインバータを導入して、回転数制御により流量を調整することで消費電力の削減を図る。	204	1,000	4.9
	合計	1,460	1,000	—

### ◆ 削減効果の見込み（全エネルギー削減ポテンシャル）



### ◆ 他にも適用できる施設例

- 換気における外気の導入について最適必要量が未検討の施設
- 冷温水機の冷水出口温度について最適温度が未検討の施設
- 照明照度を下げる余地のある施設
- 省エネ型自販機が未導入の施設
- ポンプ等の動力機器についてインバータ化の余地がある施設
- 季節間でエネルギー使用量の変動が大きい施設